

電機・情報通信部会 2023年下期の回顧と今後の展望

2024年、ブラジル民間投資拡大の可能性
～現地市場ニーズの取り込みに向けて～

2024年3月20日
電機・情報通信部会



目次

- ・アンケート結果
- ・市場概況
- ・最後に

目次

・アンケート結果

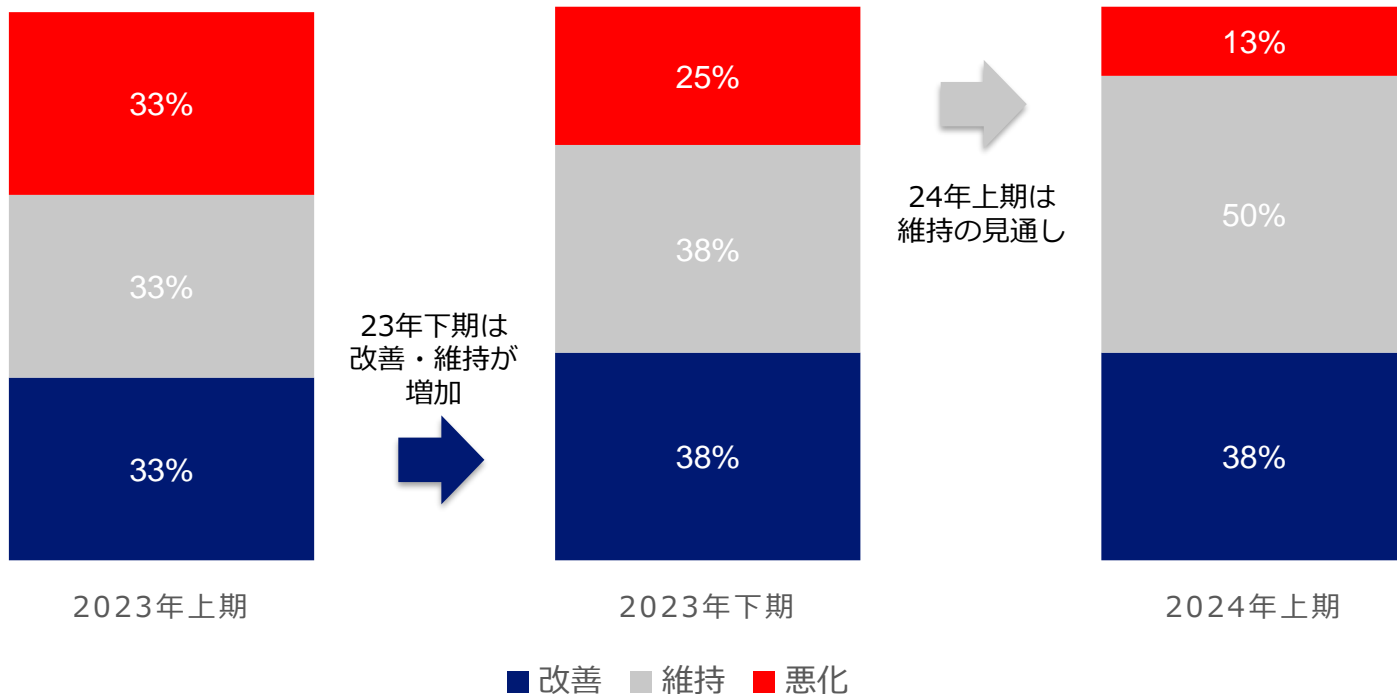
・市場概況

・最後に

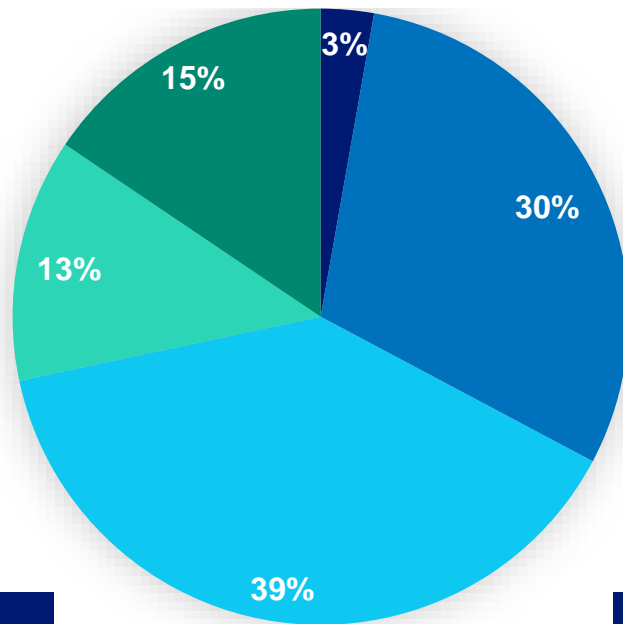
2023年下期の回顧と2024年上期の展望 会員アンケート結果

電機・情報通信部会各社の販売動向(対前年)

「維持」を対前年比100~109%として分類
リアルベースを対象



2023年下期実績に対する改善若しくは悪化の要因



- 政策による影響
- 景気による影響
- 顧客状況の変化による影響
- 自社関係での影響
- 為替など外的要因による影響

改善の要因

- ✓ コロナ後に需要急増
- ✓ 新製品投入による顧客層の拡大
- ✓ 新規顧客・新規プロジェクトによる拡大など

悪化の要因

- ✓ 半導体不足の反動による在庫過多による需要停滞
- ✓ 競合他社の価格攻勢
- ✓ 自動車市場の低迷、材料価格高騰など

2024年上期予測の要因及び最優先経営課題

改善の要因

- ✓ 重点地域の販売強化と販路拡大
- ✓ 新規顧客開拓によるマーケットシェアの拡大
- ✓ コストダウン、生産性改善の継続と新規事業の拡大
- ✓ 新規サービスの展開

維持の要因

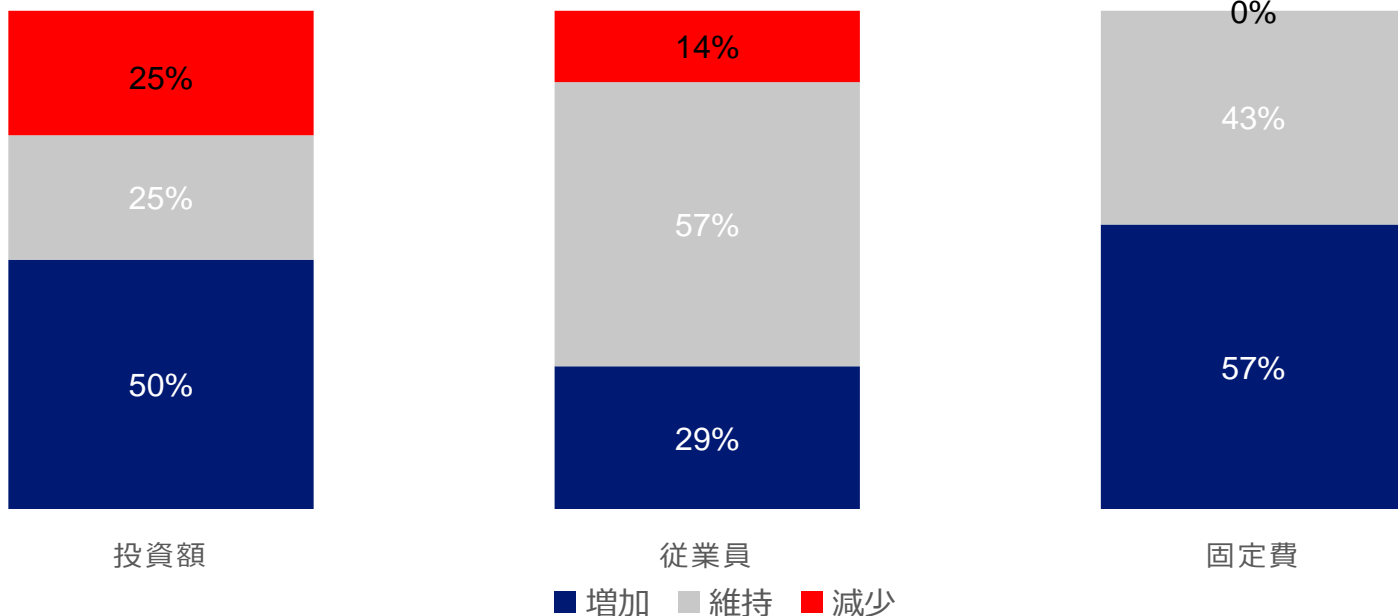
- ✓ 低価格品の収益性見極め
- ✓ 自動車市場の低迷を経費削減、新規事業でカバー

最優先経営課題（上位5位）

- ✓ 営業強化
- ✓ 新事業・新サービスの立ち上げ
- ✓ 新規顧客・マーケット拡大
- ✓ 生産性向上、オペレーション強化
- ✓ コストダウン

2023年下期の投資や経費などの変化(前年同期比)

「維持」を対前年比100~109%として分類



減少・維持の要因

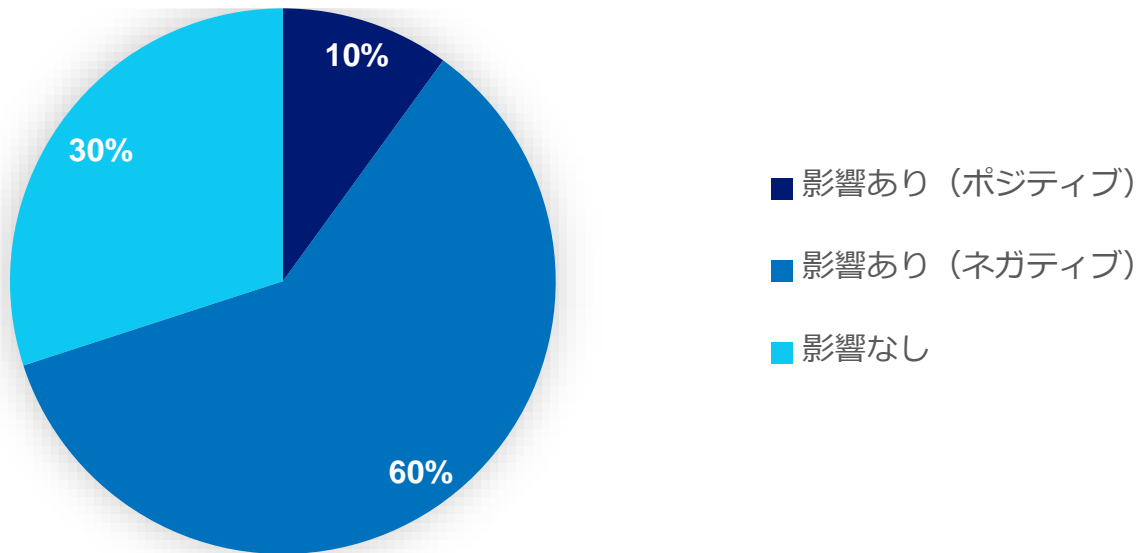
- ✓ インフレによる固定費増分の影響を抑制
- ✓ 人件費高騰を業務効率化で影響を抑制

増加の要因

- ✓ 事業拡大に伴う投資額の増加
- ✓ 売上規模拡大に対応するため従業員数の増加
- ✓ 多くの企業でインフレにより固定費が増加

2023年下期の世界的な市況の変化によるビジネスへの影響

高インフレによるビジネスへの影響



影響

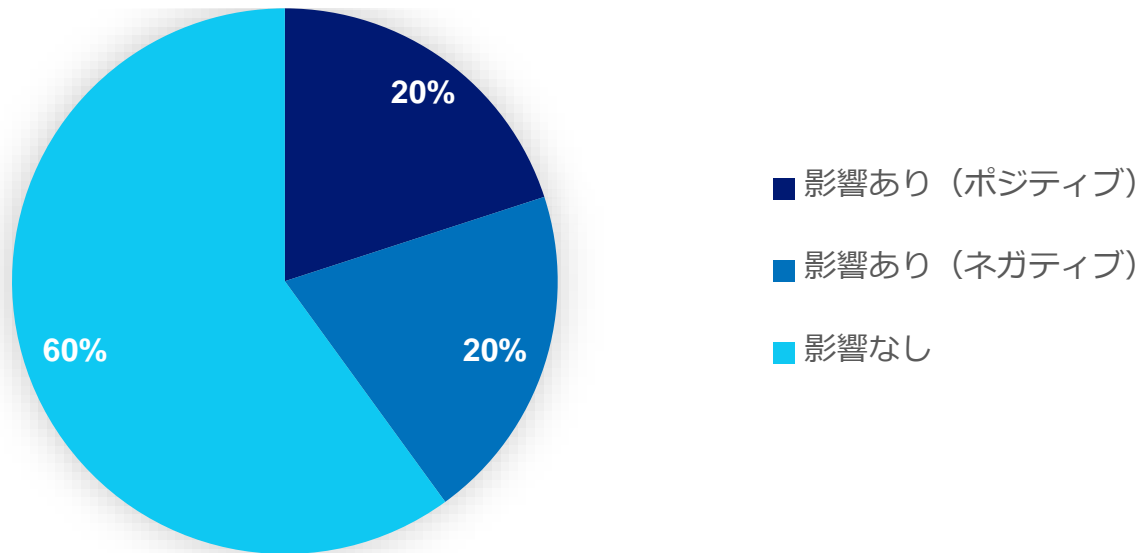
- ✓ コスト（人件費、材料費、物流など）の増加
- ✓ 需要の停滞・減少
- ✓ 企業の投資遅延

対策

- ✓ 商品やサービスの価格／品質に反映
- ✓ コスト削減（仕入れ先の見直し、移転など）
- ✓ 業務効率化

2023年下期の世界的な市況の変化によるビジネスへの影響

ブラジル政権交代によるビジネスへの影響



影響

- ✓ 経済・雇用が比較的良好、為替も安定傾向
- ✓ 税制変更、但し増税による影響も
- ✓ 先行き不透明感による市場の保守化

対策

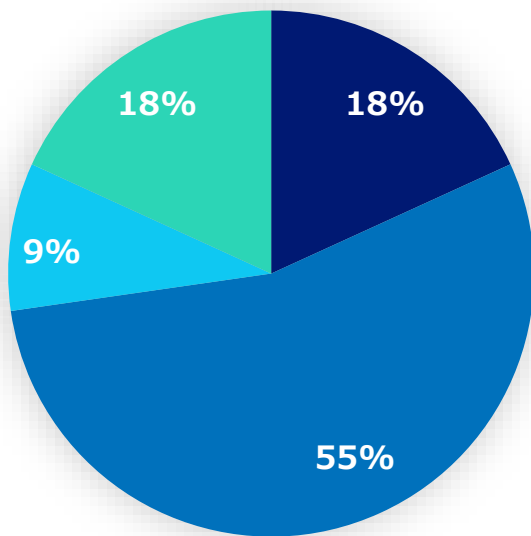
- ✓ 今後の市況を見極め
- ✓ 物流見直し等で増税影響を緩和

2023年下期の世界的な市況の変化によるビジネスへの影響

アフターコロナの働き方

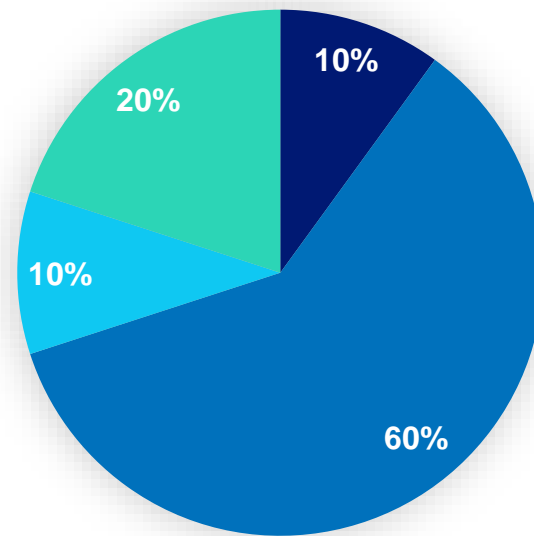
* 全体の60%が「週1日-2日」を選択

2023上期



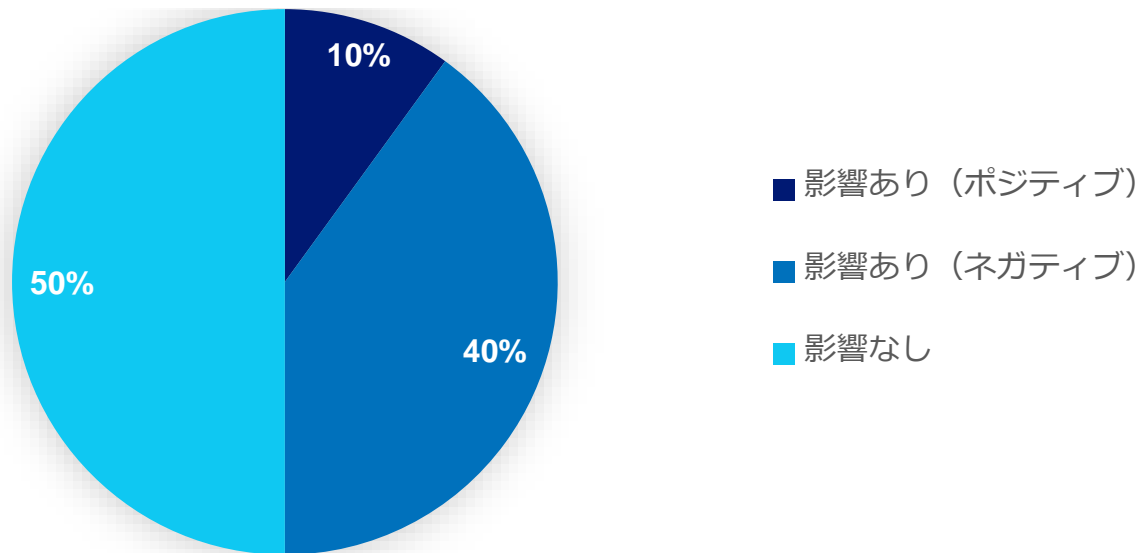
■ 毎日 ■ 週1日-2日 ■ 週3日 ■ 原則テレワーク

2023下期



■ 毎日 ■ 週1日-2日 ■ 週3日 ■ 原則テレワーク

2024年上期の税制変更によるビジネスへの影響



影響

- ✓ 新移転価格税制での税金変動
- ✓ 10年間の移行期間後は税制簡素化によるメリット期待も、移行期間の業務負荷増を懸念
- ✓ 製造原価上昇や増税影響で収支圧迫
- ✓ 移行期間が10年で現時点ではまだ影響なし

対策

- ✓ 仕切り価格、輸入価格の見直し
- ✓ コスト削減（仕入れ先の見直し、移転など）
- ✓ 業務効率化、物流最適化
- ✓ 為替安定で輸入部材への好影響で増税分相殺期待
- ✓ 商品やサービスに転嫁

DX・SDGs関連での取り組み

DX関連

- ✓ RPA活用、システム更新
- ✓ ERP工程等ツール・プロセス自動化等による業務効率化
- ✓ 営業報告・出張経費報告書の電子化、省エネ管理の見える化
- ✓ CRMの導入、他国の拠点とのEDI化 など

SDGs関連

- ✓ 社員教育の実施
- ✓ 社有車へのイタール使用、冬物衣類の寄付、植樹、社内廃棄品のMonitoringなど
- ✓ オフィスの節電、太陽光発電活用、スマートオフィス化検討
- ✓ 社会貢献（教育機関への音楽・楽器普及活動・がん患者施設への寄付）
- ✓ 使用済消耗品の回収と再生

アンケートから見る経済展望

経済

- ✓ ブラジル経済は堅調に推移していくと期待
- ✓ インフレの減速が続き、利下げが加速していくことで経済が今後徐々に好転していくことに期待するもウクライナ危機をはじめとした国際事情の不確定要素は継続
- ✓ 高金利影響で回復スピードは緩やか、企業投資も金利影響ありまだ限定的、24年度上期で底打ち期待
- ✓ ストライキの発生、不安定な為替は懸念要因

業界

- ✓ IT業界は経済成長率を上回る見込み、特に生成AIの動向が影響大
- ✓ 韓国・中国・ローカル勢等、特に中国勢の競合他社の動き活発で、競争環境は益々厳しさが増す見込み
- ✓ 製造各社のDX取り組みにより市場拡大、DX新技術の動向には注視
- ✓ FA機器需要においてはF&Bは成長を続けるも農業は不透明。自動車は比較的安定するも鉱業と金属は減速を予測。
- ✓ インフレに伴う業界全体の需要減

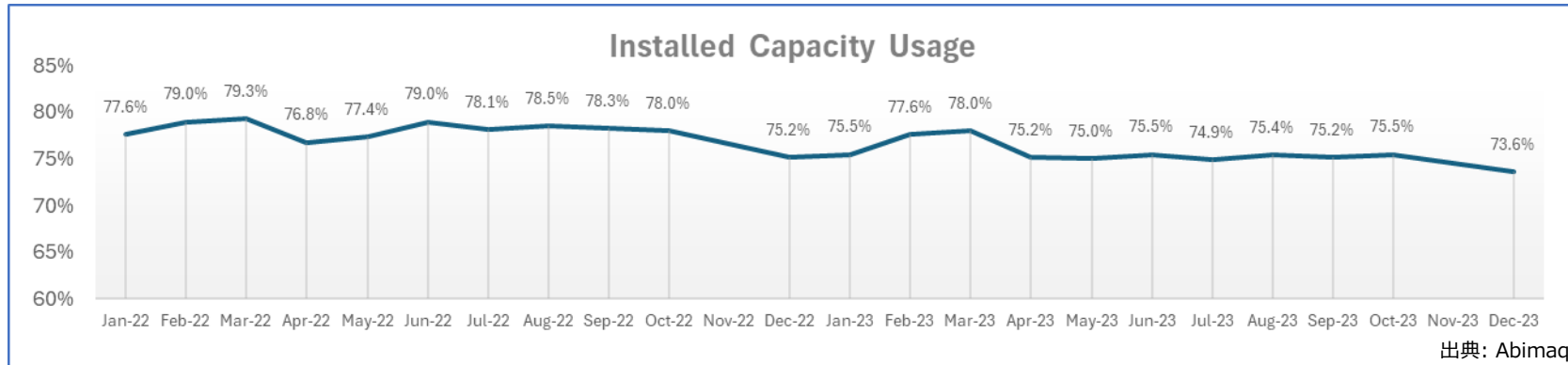
目次

・アンケート結果

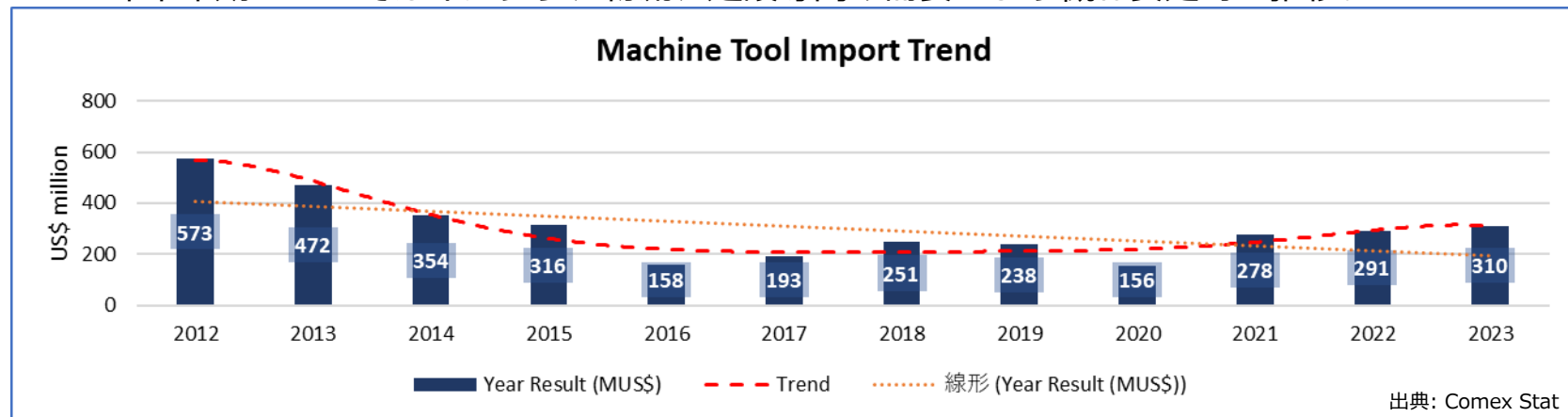
・市場概況

・最後に

設置機械稼働状況及び工作機械輸入金額傾向

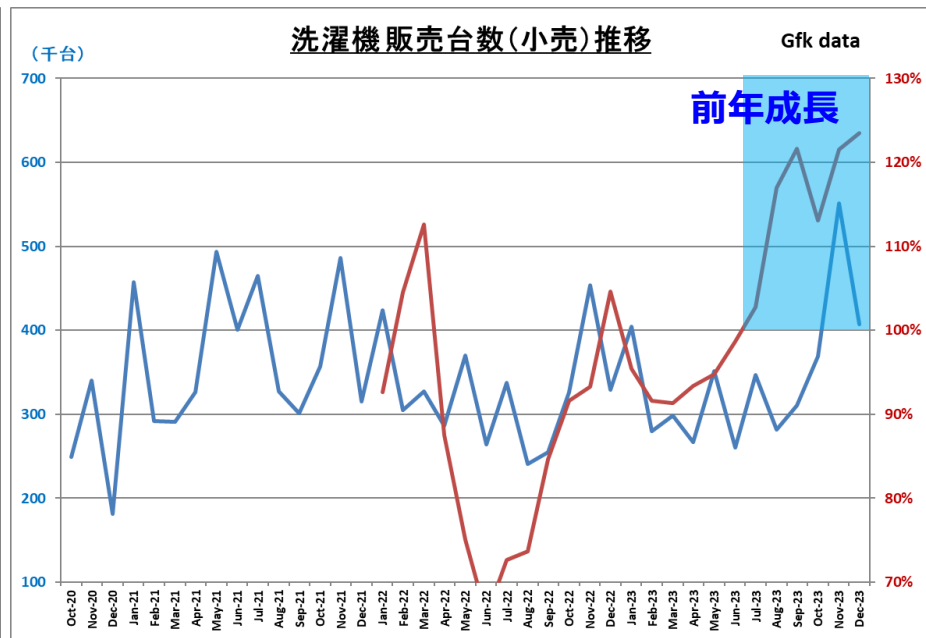
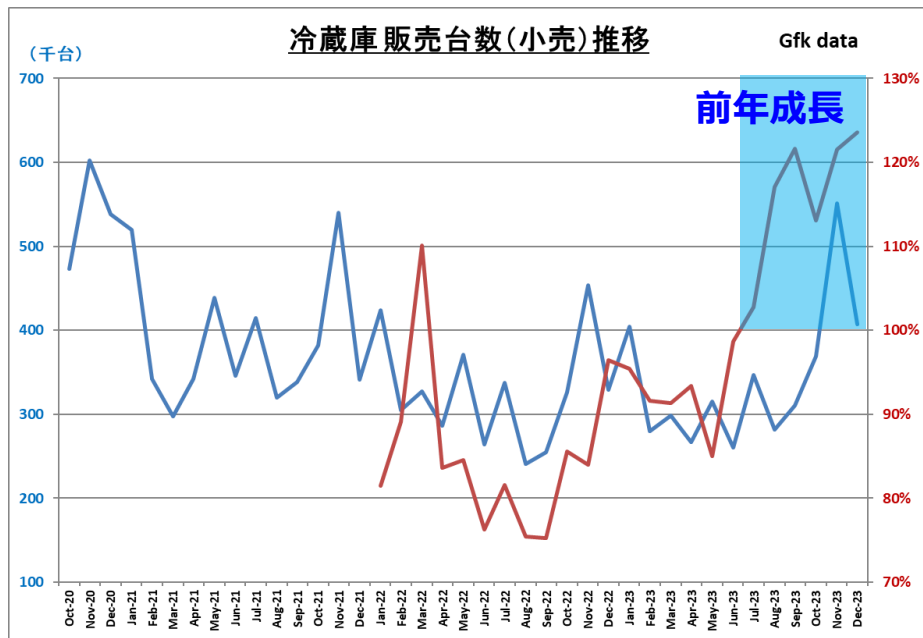


✓ 23年下半期についてはインフラ、物流、建設等向け需要により概ね安定的に推移。



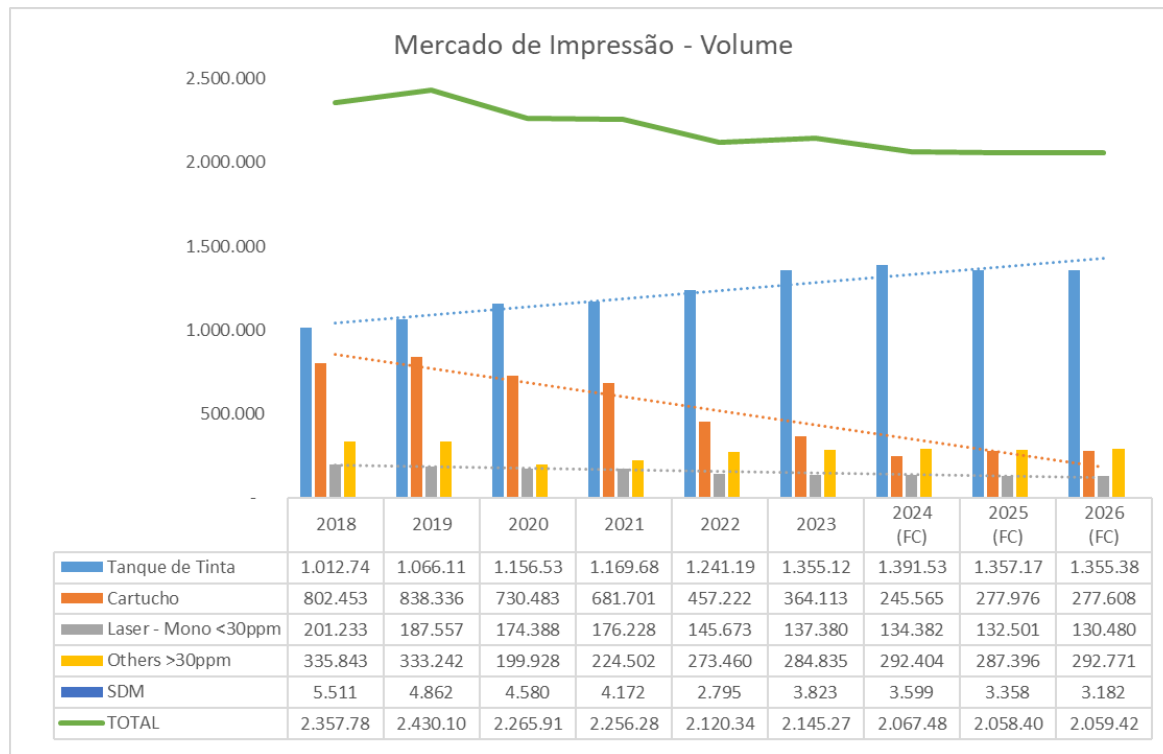
✓ 23年は対前年比106%と21年から引き続き緩やかに回復基調。24年も同様の成長を見込む。

ブラジル家電(冷蔵庫/洗濯機) 販売台数(小売)の推移



- ◇22年から続くインフレ高進・金利高によって消費者の購買意欲低迷、前年割れが続いていたが、23年7月以降、前年成長基調に戻る。クリスマス商戦では前年120%を越え、年間計でも前年+5%成長。
- ◇家電需要は底打ち、回復したが24年も耐久消費財への支出は大きく増えない(前年+2~3%)と見込む。

プリンターのタイプ別販売実績及び傾向



- ✓ 前回値（2023年9月）と比較し、全体需要は2023年は微増、2023年をピークに減少に転じる。タイプ別だと、24年にはカートリッジタイプからインクタンクタイプへの切り替えが着実に進行。

ブラジル5G状況

- 2021年 7月 既存4G周波数を用いて5Gサービスを開始
- 2021年12月 5G周波数ライセンスを付与
- 2022年10月 全州都および連邦直轄区にてサービス開始
- 現状 人口20万人以上の都市の半分程度でサービス開始

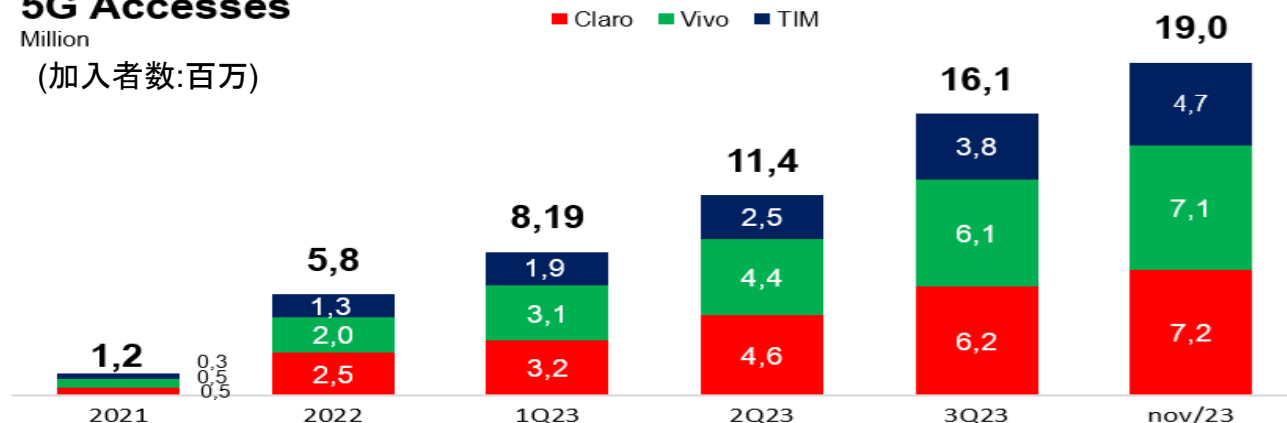
5G 加入者数推移

加入者数は順調に増加を続けており、昨年11月末時点で19百万加入者
人口あたりの5G加入者数は約9%

5G Accesses

Million

(加入者数:百万)



(参考値)

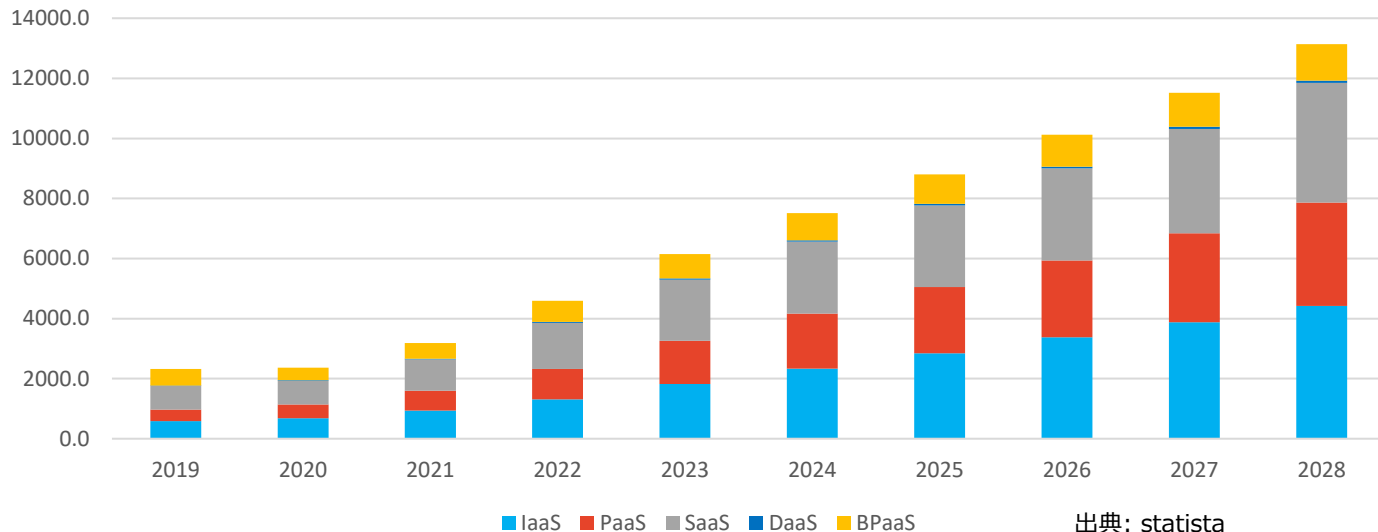
主要国/地域
5G加入者数<22年末>

中国	561百万
北米	166百万
西欧	69百万
日本	63百万
韓国	28百万

ブラジルのパブリッククラウド

(単位 : Million USD)

ブラジルのパブリッククラウドマーケット推移



サービス種類	領域
BPaaS (Business Process)	ビジネスプロセス
DaaS (Desktop)	デスクトップ
SaaS (Software)	アプリケーション
PaaS (Platform)	ミドルウェア
IaaS (Infrastructure)	ハードウェア

- ✓ ブラジルのクラウドマーケットは拡大しており、2024年以降も拡大する見込み。2023年時点で日本の約1/3の規模。
- ✓ IaaS (AWS、Azureなど) とSaaS (Microsoft Teams、Zoomなど) が大部分を占め、5年間で2倍以上拡大する見込み。
- ✓ DaaS (VMware、Citrixなど) は、仮想デスクトップ環境をクラウド上で提供するサービスで、規模は全体の1%以下。
- ✓ BPaaS (主に人事、財務、CSなど) は、ビジネスプロセスそのものをアウトソーシングするクラウドサービスで拡大中。

目次

・アンケート結果

・市場概況

・最後に

商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

- ✓ 日本-メルコスール間のEPA交渉の促進
- ✓ 各国メルコスール情報の最新情報の発信
(可能であれば現地生産化等各国企業の動きも)
- ✓ ブラジル特有のビジネス上対応すべき点の発信の継続
- ✓ ブラジル経済、市況動向の情報共有の継続
- ✓ 税制改革（複雑かつ高い税制の緩和）
- ✓ 新税制移行期間の企業負担の軽減
- ✓ 財政規律の維持、安定的な為替運営、インフレ抑制、利下げの継続

ご清聴、有難うございました。

